

令和10年度以降開始 医師臨床研修 募集定員配分方法案について

医師臨床研修の募集定員数について

- 国は、臨床研修医の募集定員倍率を圧縮するため、東京都を含む医師多数県等に対し、募集定員上限を前年度より減少させる措置を令和7年度募集定員から実施

具体的な計算方法

直近(R7年度)の採用実績数(≡内定数(マッチング+二次募集)－国家試験不合格者数等)と前年度(R8年度)の募集定員上限数×0.99のうち、少ない方を上限とする措置

令和7年度開始研修

- 令和5年度採用実績数**1,273名**と
令和6年度募集定員上限1,280名×0.99(1,267名)のうち、少ない方(**1,267名**)が配分

令和8年度開始研修

- 令和6年度採用実績数**1,276名**と
令和7年度募集定員上限1,267名×0.99(1,254名)のうち少ない方(**1,254名**)が配分

令和9年度開始研修

- 令和7年度採用実績数**1,248名**と
令和8年度募集定員上限1,254名×0.99(1,241名)のうち少ない方(**1,241名**)が配分

現行の募集定員の配分方法

配分方針

- ✓ 採用実績を考慮した配分とする。
- ✓ 医師少数区域への配慮を盛り込む。
- ✓ 病院間調整による配分数の変更を認める。

配分方法

【配分方法A－必ず配分すべき数】

A-1 医師少数区域の基幹型病院(西多摩、南多摩 計10か所)

- ・前年度配分数(配分希望数が前年度配分数に満たない場合は配分希望数)まで配分

A-2 マッチング対象外(受入れ義務への対応)

- ・防衛医大(自衛隊中央病院)及び自治医大(研修を受け入れる都立病院)

A-3 小児科・産科プログラム

- ・本体定員が20名以上となる病院(必須)を対象に4を配分
- ・経過措置的に認めてきた本体定員16名以上で希望する病院への配分については、過去3年間の内定者数の平均値が2名以上の場合4を配分

A-4 最低定員数調整の枠内配分

- ・配分数が1となる病院については、最低定員数2名となるように、各1を枠内で配分

【配分方法B－基本的配分数】

○ 前年度配分数(配分希望数が前年度配分数に満たない場合は配分希望数)まで配分

- 広域連携型プログラムについては、令和8年度の本体定員が20名以上の病院において、当該病院の本体定員内において、比例案分した人数を割り当て

【配分方法C－都定員上限を超えている場合の調整】

- 上記配分方法による配分数合計が、都定員上限数を超えている場合は、実績下位から定員を削減

○ 直近5年間の欠員数(定員数-採用者数)の累計(※)が多い病院から各1を削減

※小児科・産科プログラムを有する(有していた)病院については、本体定員と小児科・産科プログラム定員を合算して欠員数の累計を算出する。

- 配分方法Aの必ず配分すべき数については、調整を行わない。
- 欠員数累計が同数の場合は、定員数が少ない病院に配慮し、より定員数の多い病院から調整する。
- 定員数も同数で並んだ場合は、過去の内定率→マッチ率の順に成績を考慮し調整する。

【病院間調整】 病院間で合意があり、双方から申し出がある場合、定員数の病院間調整が可能

令和10年度開始医師臨床研修 募集定員配分方法

現行の配分方法の課題

- 欠員発生後の病院の採用努力が反映されにくく、最大5年間、毎年1名削減され、定員数が少ない病院ほど、過剰な調整となる可能性がある。
- 直近1年間の採用実績を考慮して定員を配分する国の考えと乖離

※R8▲1削減後の定員は、最小13名、最大91名

配分方法を以下の通り見直し

現行の配分方法（概要）

- 直近5年間の欠員数(定員数-採用者数)の累計が多い病院から各1を削減
- 欠員数累計が同数の場合は、定員数が少ない病院に配慮し、より定員数の多い病院から調整する。

令和10年度配分方法（概要）

- ✓ 直近1年の欠員数(定員数-採用者数)が2以上を対象に、欠員数の多い病院から各1削減
⇒ 単年度の欠員が長期間影響せず、かつ欠員発生後の病院側の採用努力が反映されやすい。
国も単年度の採用実績を踏まえて、都道府県に対して定数を配分
やむを得ない事情で欠員が生じた場合を考慮して、欠員1名の場合は削減対象としない。
- ✓ 欠員数が同数の場合は、定員数が少ない病院に配慮し、より定員数の多い病院から調整(現行同様)。
- ✓ 1巡してもなお、削減後の配分数合計が都定員上限数を超過している場合は、2巡目、3巡目……を行う。

令和10年度開始医師臨床研修 募集定員配分方法(シミュレーション)

(参考)欠員数の反映年数(5年、1年)による令和X年募集定員13名削減

※本表は、募集定員の降順となっている。

※いずれかのパターンで削減対象となる病院のみリストアップ

	募集 定員	直近5年間(現行)			直近1年(欠員数2以上を対象)						直近1年(欠員数1以上を対象)					
		欠員数累計 (直近5年間)	累計 順位	削減数	欠員数 (直近1年 間)	欠員数 (広域プロ 控除後)	累計 順位	1巡目	削減数 2～3巡 目	合計	欠員数 (直近1年 間)	欠員数 (広域プロ 控除後)	累計 順位	1巡目	2巡目	合計
合計	1,252	149	—	▲13	43	32	—	▲5	▲8	▲13	43	32	—	▲12	▲1	▲13
A 病院	91	14	3	▲1	9	7	1	▲1	▲2	▲3	9	7	1	▲1	▲1	▲2
B 病院	90	4	10	▲1	3	0					3	0				
C 病院	47	8	6	▲1	5	5	3	▲1	▲2	▲3	5	5	3	▲1		▲1
D 病院	45	15	2	▲1	8	6	2	▲1	▲2	▲3	8	6	2	▲1		▲1
E 病院	40	5	8	▲1	0	0					0	0				
F 病院	38	5	8	▲1	4	4	4	▲1	▲2	▲3	4	4	4	▲1		▲1
G 医院	37	10	5	▲1	0	0					0	0				
H 病院	34	6	7	▲1	1	1					1	1	6	▲1		▲1
I 病院	31	4	10	▲1	2	2	5	▲1		▲1	2	2	5	▲1		▲1
J 病院	30	12	4		0	0					0	0				
K 病院	27	3	14	▲1	0	0					0	0				
L 病院	24	2	16		2	0					2	0				
M 病院	24	4	10	▲1	0	0					0	0				
N 病院	20	23	1	▲1	1	0					1	0				
O 病院	17	2	16		1	1					1	1	6	▲1		▲1
P 病院	13	3	14		1	1					1	1	6	▲1		▲1
Q 病院	13	4	10	▲1	0	0					0	0				
R 病院	6	2	16		1	1					1	1	6	▲1		▲1
S 病院	5	2	16		1	1					1	1	6	▲1		▲1
T 病院	3	2	16		1	1					1	1	6	▲1		▲1
U 病院	3	1	22		1	1					1	1	6	▲1		▲1